

開催報告

令和元年7月13日・8月25日の両日、独立行政法人教職員支援機構岡山大学センター主催のNITSカフェを実施しました。本研修会の目的は、学校現場の実践にいかすことを目的に教員の資質向上をテーマとした参加型ワークショップであり、今回は、学校現場で起こりうる危機を捉える視点を持ち、状況設定・限られた資源の活用による現状を整理分析し、今後起こり得る事象を予測できるためのプロセス理解をテーマとしました。

第1回目は、事例分析や机上シミュレーション訓練で判断力と対応力、連携の方法について、講義とワークにより手法と評価法の理解を深め、予防的対応に導くこと。第2回目は、参加者には自校の危機または改善したい事象の計画に取り組み、実践の振り返りと分析の視点に役立つよう設定しました。以上から参加者それぞれがPDCとAの往還の理解を深め、活用する力量を高めるよう展開することで、教諭の資質向上を目指しました。

【第1回目（7月13日）報告】

学校保健・学校安全の法律と学校現場での現状について、講義を行った。学校におけるリスクマネジメント、クライシスマネジメント（以後「危機管理」）体制の総論と、具体例として、近年の災害状況と学校としての対応・課題について説明を行った。その後、演習形式により、「熱中症対応」、「不審者対応」、「感染症対応」の3テーマを、80分間のローテーションにより、参加者が全ての内容を体験できるよう配慮し、グループディスカッションを実施した。それぞれのテーマは、学校現場で起こりうる状況設定により、実践をイメージしながら限られた資源の活用による机上シミュレーション訓練で判断力と対応力、連携の方法について、ファシリテーターの助言とワークにより、その手法と評価法の理解を深めた。



学校保健・学校安全に関する講義



演習1「熱中症対応」



演習2「不審者対応」



演習3「感染症対応」

【第2回目（8月25日）報告】

演習のねらいとして、「Plan を軌道修正する Action」、「新たな Plan に向けた Action」「何を Check しているのかを意識する」PDCA の循環と、そのことを踏まえた年間計画の具体的な立案の方法について説明を行った。グループにわかれ、それぞれが取り組んだ自校の課題について、目標と望ましい結果を発表し、質問と自分の学校の取組みの状況や工夫について、ディスカッションを行い、グループで取り組む1課題を選択した。さらに各グループで選択した1課題の年間計画を立案し、全体発表を行い、質疑応答とファシリテーターの助言を行った。



PDCとAの往還を意識し、すすめる方法について説明



それぞれが取り組んだ課題の発表と共有



グループで課題を1つ選び、年間計画を立案



グループ発表・質疑応答・助言

《NITS 岡大カフェを終えて》

参加者アンケートでは、様々な手法を取り入れた演習の充実、危機管理実践における PDCA の具体的な取り組みや展開・連携に関する学びに関する満足度は高い結果であった。「他校の事例をきくことで本校にも通じて勉強になった」、「一緒に討論することで視野が広がった」、「自校の改善が根拠をもって説明できる」、「自校の研修で取り入れたい」、「充実した演習方法で、地域の教員研修にも活用したい」との意見もあり、本研修の目的は達成できたと考える。

研修会終了時に、岡山大学教職大学院の単位授与対象となるラーニングポイント取得の修了証をお渡ししました。



修了証の授与

《NITS 岡大カフェ担当》

岡山大学大学院教育学研究科（養護教育講座）

教授 伊藤武彦、上村弘子、松枝陸美、三村由香里

准教授 棟方百熊

講師 津島愛子、山内愛

元岡山大学大学院教育学研究科教授 宮本香代子